

アジア編:

ハイエンド化に向かうか？中国携帯端末市場

情報家電、通信で成長中の市場として注目を集める中国で、多くの消費者が関心を寄せる携帯電話端末は、今後数年間でハイエンド化が進み、スマートフォンの人気が高まることが期待されている。調査会社 iSuppli は 2 月 7 日、2007 年の中国における携帯電話端末出荷数が 2 億 2,900 万台に達したと発表。これは、2006 年の 1 億 3,000 万台から 76.2% 増を記録する結果となり、中国における携帯電話人気のほどが窺える。また、別の調査会社 In-Stat は 2 月 14 日付で、現在、低価格の携帯電話端末の人気が上昇しているが、出荷台数のピークは 2008 年になると予測。こうした低価格携帯のピークと入れ替わりに、中国携帯市場を牽引していくと見られるのがスマートフォンである。2 月 26 日付の In-Stat の発表によると、2007 年の中国におけるスマートフォン出荷台数は、前年比 37.7% 増の 1,440 万台となっており、すでにその萌芽が見られている。スマートフォン経由のインターネット利用はもちろんであるが、中国でスマートフォンをはじめとするハイエンド携帯情報端末市場を後押しすると見られるのが、GPS を利用したサービスである。現在、中国の GPS 機能搭載スマートフォンはまだ揺籃期にあるが、2012 年頃までにその頭角を現し、出荷数は 3,300 万台まで伸びると、In-Stat は見ている。中国では、政府による情報アクセスへの監視、一般市民が得られる情報への検閲・制限といった政策の問題はあるものの、中国におけるインターネット人口は確実に増加している。若者の間では、ネット中毒ユーザーが増加し社会的問題となり、対策が講じられるほど。こうしたハイエンド端末に適応しやすいユーザー層が、ハイエンド携帯端末市場の成長の鍵を握っていると言えるだろう。